

科目名	教育実習（実習指導）		担当教員	由田 新・伊藤 恵里子 大村 あかね		
			担当形態	複数		
テキスト	教育・保育課程論 萌文書林 「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館 「保育用語辞典」ミネルヴァ書房	単位数 授業形態	1 単位	演習	開講時期	前期

講義概要

■到達目標

・幼稚園において、子どもや家庭の状況を知り、適切な援助を行うための準備をし、実習後に実習体験のまとめを行うことで、下記について、自身の体験を省察し反省的な実践を行う素地ができる。

・保育の過程を理解し、計画の立案から実践、評価までを行う体験（部分実習・責任実習等）を行うための準備を整える。

・3週間という長期間の実習で、背景を含めた子どもの理解やこれまでの実習から見えてきたテーマについて、実習から見えてきた自己の良さや課題について、深く掘り下げるための準備ができる。

<子ども理解>

・幼稚園において、子どもがどのように学び、生活をし、どう成長を遂げるのかなどその背景を含めて具体的に考察する。

<職務の理解>

・保育者の援助と、その基となる保育観や意図を理解する。

<実習園の理解>

・保護者とのかかわり、地域の幼児教育のセンターとしての使命など、様々な支援を理解する。

<保育の過程の理解>

・保育の過程を理解し、保育の計画立案、実践、自己評価、改善を試行することができる。

<自己課題>

・実習を通して自己の良さや課題、価値観などに気づく。

■授業の概要

<事前指導>

事前指導では、1年次の実習の成果等を基に、実習のテーマを設定します。そして、①目的・テーマにそった実習の実施、②部分・責任実習等、保育の過程の理解に向けた準備、③幼稚園教育要領の理解、④記録の作成（経過記録／エピソード記録）⑤実践から自身の価値観や良さと課題の傾向を観る、⑥その他。

また、事前学習においては、「それぞれの達成段階に応じた授業プログラムの設定」を行うほか、「実習に不可欠な知識や技術の習得（試験等によって確認）」を行います。

<事後指導>

実習後の振り返りは、実習の総括レポートを基に、実習の記録や体験を基に仲間同士で振り返り、自身が実習を通して何を見て何を感じ、目の前の子どものように開わり、なぜそのように考えたかなど実習のまとめを行います。

■授業計画

第1回 オリエンテーション 2年次の実習のねらいと、すすめ方

第9回 事前訪問の振り返りとまとめ

第2回 実習をするということ・大切にしていきたいこと

第10回 部分・責任実習に向けて②

第3回 これまでの実習を振り返りながらテーマを設定する

第11回 教育実習において何をどう学ぶのか

第4回 幼稚園教育要領を実習に生かす

第12回 事後指導①

第5回 園での子どもの生活・保育者の仕事をどう理解するのか

第13回 事後指導②

第6回 部分・責任実習に向けて①

第14回 事後指導③

第7回 記録の書き方

第15回 事後指導④

第8回 事前訪問（1日体験）

■準備学習

授業時間外に各自以下の課題に取り組むこと

・各自の準備課題の実施、「実習がんばり表」の作成

・指導計画の作成

・これまでの実習記録の見直し・修正等

■評価方法

・実習記録及び指導案の課題 — 20%

・「実習がんばり表」の作成 — 20%

・幼稚園教育要領の理解 — 10%

・実習のまとめのレポート — 40%

・実習成果の発表 — 10%

■特記事項

・実習前の大切な学習の機会であるため、全ての授業に出席することが求められます。

・実習前に各教科の取得状況、取り組みの状況等をふまえて、実習に臨むことが可能かどうかの確認を行います。したがって、他教科への取組み状況及び事前準備の状況等によっては実習に参加できない可能性があります。

・事前指導においては、「目標達成別の授業回数」を適用します。それぞれの回の授業の目標が達成されない場合、達成できるまで粘り強く指導を受ける事を必須とします。

・実習が不十分で単位が認定されない場合、事前指導も合わせて認定されません。

参考文献	「幼稚園教育要領」文部科学省 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」内閣府	特記事項	別記。
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修	幼保	教職に関する科目